

(様式第9)

平成21年10月5日

厚生労働大臣

開設者名 名古屋大学医学部
松尾清

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	27人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	247人	254人	456.2人	看護業務補助	6人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	25人	29.8人	理学療法士	14人	臨床検査技師	57人
薬剤師	58人	0人	58.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	20人	0人	20.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	819人	18人	832.5人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	2人	2人	3.5人	栄養士	0人	その他の技術員	2人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	2人	事務職員	151人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	50人	その他の職員	4人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	791.5人	13.2人	804.6人
1日当たり平均外来患者数	2217.8人	71.5人	2289.3人
1日当たり平均調剤数	12,189 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有	1人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	無	人
神経芽腫のRNA診断	無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有	2人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 (HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 (頸椎椎間板ヘルニア (画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも (後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
ケラチン病の遺伝子診断 (水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 (肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 (ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	無	人
超音波骨折治療法 (四肢の骨折 (治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの (開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 (ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 (骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性 (欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時 (初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 (難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 (骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	無	人
膀胱水圧拡張術 (間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有	8人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 (歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 (人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	無	人
腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るもの)に限る。)	無	人
骨移動術による関節温存型再建 (骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション (原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 (腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍 (食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有	177人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間で胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	44人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	38人
・多発性硬化症	57人	・ウェゲナー肉芽腫症	5人
・重症筋無力症	84人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	62人
・全身性エリテマトーデス	181人	・多系統萎縮症	22人
・スモン	9人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人
・再生不良性貧血	69人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	80人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	40人	・原発性胆汁性肝硬変	33人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	193人	・重症急性膵炎	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	83人	・特発性大腿骨頭壊死症	83人
・結節性動脈周囲炎	20人	・混合性結合組織病	10人
・潰瘍性大腸炎	269人	・原発性免疫不全症候群	10人
・大動脈炎症候群	37人	・特発性間質性肺炎	7人
・ピュルガー病	33人	・網膜色素変性症	39人
・天疱瘡	15人	・プリオン病	3人
・脊髄小脳変性症	44人	・原発性肺高血圧症	2人
・クローン病	201人	・神経線維腫症	29人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	61人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	4人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	206人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	8人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4人
・後縦靭帯骨化症	38人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	脳神経外科・神経内科：神経生理機能検査部門 月9回 血液内科：検体検査部門 年3回 解剖・病理室 年14回		
剖検の状況	剖検症例数	38 例	剖検率 8.3 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
成人における顔認知メカニズムの解明	飯高 哲也	精神生物学	4,290,000	補委 文部科学省
キナーゼ阻害剤感受性パネルに基づく白血病の層別化	清井 仁	難治感染症部	6,000,000	補委 文部科学省
CFTR-SLC26輸送体複合体のイオン輸送機能における低分子量G蛋白質の役割	洪 繁	消化器内科	2,400,000	補委 文部科学省
白血病に選択性を有する分子標的治療法ならびにその評価法の開発	直江 知樹	血液・腫瘍内科学	9,100,000	補委 文部科学省
ポリグルタミン病の病態解明とそれに基づく治療法の開発	祖父江 元	神経内科学	33,000,000	補委 文部科学省
情動と社会性の脳内機構と、その人種・文化差に関する研究	飯高 哲也	精神生物学	2,700,000	補委 文部科学省
14-3-3εを標的とした統合失調症と気分障害の分子病態解明	尾崎 紀夫	精神医学	3,600,000	補委 文部科学省
妊娠高血圧症候群の病態機序へのスフィンゴシン1リン酸の関与の解明と治療への応用	伊藤 友美	周産母子センター	1,400,000	補委 日本学術振興会
ポリグルタミン病の病態抑止療法の開発	祖父江 元	神経内科学	17,290,000	補委 日本学術振興会
血管再生障害からみた糖尿病性心筋症の基礎解析と新規治療法の開発	室原 豊明	循環器内科学	16,510,000	補委 日本学術振興会
ハーセプチン結合マグネトロソームを用いた乳癌温熱免疫療法の効果発現機序の解明	今井 常夫	乳腺・内分泌外科	2,990,000	補委 日本学術振興会
組織工学的手法をくみこんだ骨延長法による下顎骨再建	日比 英晴	顎顔面外科学	2,990,000	補委 日本学術振興会
ドーパミン関連神経精神疾患モデルにおけるtPAの動態と機能解析	山田 清文	薬剤部	3,120,000	補委 日本学術振興会
高齢女性の動脈硬化性疾患予防と健康長寿を目指すアジア老年医学研究	林 登志雄	老年科	5,200,000	補委 日本学術振興会
siRNAを用いた新しい遺伝子治療戦略ー炎症制御による血管内膜肥厚抑制効果ー	古森 公浩	血管外科学	4,810,000	補委 日本学術振興会
孤発性ALSの動物モデルの開発	田中 章景	神経内科学	7,670,000	補委 日本学術振興会
白血病残存に関わる分子細胞メカニズムの解明とその克服	直江 知樹	血液・腫瘍内科学	4,420,000	補委 日本学術振興会
小児再生不良性貧血の造血障害メカニズムー骨髄間葉系細胞の関与ー	小島 勢二	小児科学	3,250,000	補委 日本学術振興会
色素異常症の病態解明により明らかにするメラニン生成調節機構の研究	富田 靖	皮膚病態学	4,160,000	補委 日本学術振興会
認知機能と神経画像を中間表現型とする統合失調症の分子病態解明	尾崎 紀夫	精神医学	5,720,000	補委 日本学術振興会
転移性脳腫瘍検出と治療に有用な高精度3次元スピノエコー新規磁気共鳴撮像法の確立	長縄 慎二	量子医学	4,810,000	補委 日本学術振興会
肝門部胆管癌からの胆管癌幹細胞の分離と網羅的遺伝子解析に基づく分子標的治療の開発	椰野 正人	腫瘍外科学	4,160,000	補委 日本学術振興会
上皮間葉転換誘導因子を標的とする卵巣癌の抗癌剤感受性増強と転移抑制治療法の開発	吉川 史隆	産婦人科学	5,460,000	補委 日本学術振興会
ポリグルタミン病の分子シャペロンーUPS系を介する病態の解明と治療法の開発	足立 弘明	神経内科	7,930,000	補委 日本学術振興会
肝転移腫瘍に対する腫瘍溶解性ウイルスの血管内投与法の開発	中尾 昭公	消化器外科学	4,160,000	補委 日本学術振興会

細胞内小領域標的ナノブイクルの開発とがん治療への応用	水野 正明	遺伝子治療学	10,270,000	補委	日本学術振興会
高齢者の運動機能評価の長期縦断的研究と運動機能向上に関する介入プログラムの開発	長谷川 幸治	整形外科学	10,660,000	補委	日本学術振興会
虚血性網膜疾患の分子病態解明と治療開発	寺崎 浩子	眼科学	9,620,000	補委	日本学術振興会
アジア系人種における慢性腎臓病疫学調査:Cr標準化と慢性腎臓病有病率の解析	松尾 清一	腎臓内科学	6,630,000	補委	日本学術振興会
拒絶反応と免疫順応・寛容に関与する抗原、抗体、補体、炎症、凝固のダイナミズム解析	小林 孝彰	免疫機能制御学寄附講	7,150,000	補委	日本学術振興会
小胞体内におけるシグナリング制御機構と中枢神経組織発生	山本 朗仁	歯科口腔外科	2,730,000	補委	日本学術振興会
日本の医学部教育における6年間統合型行動科学教育プログラムの開発に関する研究	鈴木 富雄	総合診療部	1,560,000	補委	日本学術振興会
熱ショックタンパクをターゲットとした悪性腫瘍に対する温熱治療の研究	菊森 豊根	乳腺・内分泌外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
癌幹細胞を標的としたヒト乳癌治療法の開発	小田 高司	乳腺・内分泌外科	910,000	補委	日本学術振興会
睡眠時の鼻呼吸閉塞に対する病態生理的解明 -nasal cycleの検討-	中田 誠一	耳鼻咽喉科	650,000	補委	日本学術振興会
機能性ヒトコンピナントミニコラーゲン開発の基礎的研究	服部 宇	歯科口腔外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
癌組織の血管新生、転移における変異型p53-FGF-1経路の影響	野本 周嗣	消化器外科二	2,340,000	補委	日本学術振興会
幹細胞誘導遺伝子導入による線維芽細胞由来幹細胞を用いた肺再生医療の構築	橋本 直純	呼吸器内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
脂肪細胞を用いた腎再生医療の新展開	丸山 彰一	腎臓内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
CIDPにおける軸索障害機序の解明:Tag-1を中心に	服部 直樹	神経内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
一酸化窒素、活性酸素制御を介する血管内分泌及び血管老化制御による動脈硬化退縮療法	林 登志雄	老年科	1,690,000	補委	日本学術振興会
モノクローナル抗体によるTMA治療モデルの確立	松下 正	血液内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
胆道癌におけるHedgehogシグナル系の発現解析	安部 哲也	消化器外科一	2,210,000	補委	日本学術振興会
ラット辺縁系てんかんモデルにおける細胞療法と併用した定位的脳深部刺激療法の開発	梶田 泰一	脳神経外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
骨組織再生を促進させる細胞治療技術の確立-培養骨髄細胞と多血小板血漿の移植-	鬼頭 浩史	整形外科	2,210,000	補委	日本学術振興会
大網由来幹細胞の展開	鳥山 和宏	形成外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
敗血症のリスク因子の解明と早期診断法の確立に関する研究	真弓 俊彦	集中治療部	1,560,000	補委	日本学術振興会
組織工学的手法を用いた癒痕組織の改善促進に関する研究	西口 浩明	歯科口腔外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
トランスセオレティカル・モデルに基づいた保健指導プログラムの有用性の検討	佐藤 寿一	総合診療部	1,690,000	補委	日本学術振興会
がん薬物療法における薬剤誘発性QT延長の遺伝的要因を含めた患者要因	安藤 雄一	外来化学療法部	1,040,000	補委	日本学術振興会
切除不能局所進行性膀胱に対する免疫細胞療法の有効性と安全性の評価検討(第2相)	廣岡 芳樹	光学医療診療部	3,120,000	補委	日本学術振興会
慢性膵炎発症・進展における膜蛋白の細胞内局在異常の解明	洪 繁	消化器内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
肺非小細胞癌におけるサイド・ポピュレーションの解析による肺癌幹細胞特性の研究	近藤 征史	呼吸器内科	3,770,000	補委	日本学術振興会

エネルギーバランスにおける弓状核GABA Bシステムの機能解析	有馬 寛	糖尿病・内分泌内科	3,770,000	補委	日本学術振興会
抗体療法における耐性化機序の解明とその克服の研究	富田 章裕	血液内科	1,950,000	補委	日本学術振興会
PMLのSUMO E3リガーゼ同定によるPML NB形成機構解明	早川 文彦	血液内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
原発性骨髄線維症に対する脂肪由来間葉系幹細胞を用いた細胞療法	中山 享之	血液内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
メタボリック症候群にともなう血栓症発症の分子病態の解明とその制御	山本 晃士	輸血部	1,950,000	補委	日本学術振興会
臍帯血移植の生着・拒絶に関与する移植片中および患者末梢血中CD8陽性T細胞の解析	村田 誠	血液内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
MR I、PETによる小児熱性けいれん重積における側頭葉てんかん発症機序の解明	夏目 淳	小児科	2,210,000	補委	日本学術振興会
小児難治性急性骨髄性白血病に対するアロ反応性NK細胞による抗腫瘍メカニズムの解明	高橋 義行	小児科	1,430,000	補委	日本学術振興会
マイクロアレイとヒト組織モデルによる慢性活動性EBウイルス感染症の病原因子の探索	伊藤 嘉規	小児科	1,690,000	補委	日本学術振興会
子宮内胎児発育不全児におけるメタボリック症候群の発症予防の栄養戦略に関する研究	早川 昌弘	周産母子センター	1,560,000	補委	日本学術振興会
薬力学・免疫学・分子生物学的解析を用いた免疫抑制療法の個別化	葛谷 孝文	老年科学	1,430,000	補委	日本学術振興会
Rhoキナーゼを介したeNOS活性制御による血管内膜肥厚抑制	山本 清人	血管外科	2,600,000	補委	日本学術振興会
重症虚血症に対するハイブリッド治療ーセンダイウイルス遺伝子治療と細胞移植療法ー	小林 昌義	血管外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
肝再生早期におけるカルシトニンの役割とその分子機構	横山 幸浩	消化器外科一	2,470,000	補委	日本学術振興会
急性胆管閉塞にともなう肝障害におけるPPAR γ の役割について	伊神 剛	消化器外科一	2,470,000	補委	日本学術振興会
乳癌骨転移に対する新規保存的治療法についての基礎研究ーヒアルロン酸制御によるー	西田 佳弘	整形外科	1,950,000	補委	日本学術振興会
低血清培養法による脂肪由来幹細胞を用いた腎障害治療におけるニッチ	山本 徳則	泌尿器科	2,990,000	補委	日本学術振興会
NEPとPTENの相互作用に着目した子宮内膜症発症機序の解明と新規治療法の開発	岩瀬 明	周産母子センター	1,170,000	補委	日本学術振興会
口腔粘膜由来線維芽細胞の特性と創傷治癒に与える影響について	蛭沢 克己	歯科口腔外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
情動とストレス反応性の脳科学	飯高 哲也	精神生物学	1,300,000	補委	日本学術振興会
子宮体癌の新規予後規定分子IDOの同定・機能解析に基づくオーダーメイド治療の開発	井篁 一彦	生殖器腫瘍制御学	1,040,000	補委	日本学術振興会
超高解像度光干渉断層計の開発、評価と眼底疾患への応用	伊藤 逸毅	眼科	1,040,000	補委	日本学術振興会
新規下垂体糖蛋白ホルモン、サイロステミリンの生理機能の探索	長崎 弘	代謝性疾患学寄附講座	1,690,000	補委	日本学術振興会
EBV関連リンパ増殖異常症の新分類画定を目指した臨床病理学的、生物学的研究	中村 栄男	臓器病態診断学	780,000	補委	日本学術振興会
医学生への「死の教育」への模擬患者導入の教育的効果の研究	植村 和正	医学部附属総合医学教	1,300,000	補委	日本学術振興会
マクロファージを標的とした炎症性疾患に対する治療方法の開発	石黒 和博	消化器疾患病態論寄附	1,690,000	補委	日本学術振興会
心不全に関与する non-coding RNAの探索および機能解析	井澤 英夫	循環器内科学	1,820,000	補委	日本学術振興会
急性心筋梗塞における血管内皮前駆細胞の動態解析と予後相関の解明	沼口 靖	プロテアーゼ臨床応用学	1,950,000	補委	日本学術振興会

心筋梗塞後の心筋リモデリングの分子機構-カテプシンの役割及び遺伝子治療への応用	成 憲武	循環病態探索医療学寄	1,560,000	補委	日本学術振興会
Notchシグナル制御による血管新生、再生療法の開発	竹下 享典	循環器内科	2,210,000	補委	日本学術振興会
気道リモデリングの予防における標的細胞と分子薬理療法	久米 裕昭	呼吸器内科学	1,170,000	補委	日本学術振興会
腹膜透析の合併症である、腹膜硬化症進展への補体関与の解析と抗補体治療の可能性	水野 正司	腎不全治療システム学寄	2,080,000	補委	日本学術振興会
糖尿病性腎症とベシジジン-VEGF/NOシグナルネットワーク	湯澤 由紀夫	腎臓内科学	1,820,000	補委	日本学術振興会
白血病における接着シグナル分子Rho GTPaseの役割	勝見 章	血液内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
鏡視下手術用トロッカー挿入のシミュレーション・トレーニング・システムの開発	藤原 道隆	画像情報外科学寄附講	1,820,000	補委	日本学術振興会
慢性腎不全下における肝切除後肝再生のメカニズムについて	西尾 秀樹	腫瘍外科学	2,210,000	補委	日本学術振興会
先天性胆道拡張症の胆管組織における神経構造ならびに神経伝達物質の研究	安藤 久實	小児外科学	910,000	補委	日本学術振興会
人工心肺を用いない心拍動下僧帽弁形成術式の開発	碓氷 章彦	心臓外科学	2,080,000	補委	日本学術振興会
ポストゲノム時代における脳腫瘍のエピジェネティクス解析による診断・治療の新展開	夏目 敦至	遺伝子・再生医療センタ	1,170,000	補委	日本学術振興会
脳動脈瘤破裂リスク解析システムの開発	宮地 茂	脳血管内治療学	1,300,000	補委	日本学術振興会
遺伝子移入骨髄幹細胞とコンドロイチナーゼABCを利用した脊髄再生	松山 幸弘	リウマチ学	1,690,000	補委	日本学術振興会
卵巣癌・腹膜癌を標的とした新規がんウイルス療法の開発	那波 明宏	産婦人科学	1,430,000	補委	日本学術振興会
遺伝子異常モデルマウスを用いた内耳血管障害の解明と保護作用	曾根 三千彦	認知・言語医学	1,300,000	補委	日本学術振興会
内外リンパの画像化と内耳病態の検索	中島 務	耳鼻咽喉科学	910,000	補委	日本学術振興会
高分子半透膜カプセルを用いた神経栄養因子産生細胞の眼内移植	中村 誠	眼科学	2,080,000	補委	日本学術振興会
隣胆管合流異常の症状発現機序に基づく新治療法の開発	金子 健一朗	小児外科学	1,430,000	補委	日本学術振興会
薬剤溶出担体を用いた内視鏡的粘膜切除術後食道癒着狭窄の予防	丹羽 康正	消化器内科学	1,820,000	補委	日本学術振興会
脂質沈着による心肥大、心不全進展の病態の解明	奥村 健二	循環病態探索医療学寄	2,080,000	補委	日本学術振興会
肺がん治療標的としての上皮間葉系細胞転換 (EMT) 関連分子同定の研究	佐藤 光夫	放射線部	1,690,000	補委	日本学術振興会
CAPD患者の腹膜機能不全に対する血管・リンパ管新生を中心とした病態解明と対策	伊藤 恭彦	腎不全治療システム学寄	1,950,000	補委	日本学術振興会
メタボリックシンドロームの新規治療標的としての脂肪細胞S1P受容体の研究	濱田 洋司	代謝性疾患学寄附講座	3,250,000	補委	日本学術振興会
リツキシマブ治療における腫瘍側の生物学的作用機序の解明と感受性増強療法の開発	木下 朝博	血液・腫瘍内科学	1,950,000	補委	日本学術振興会
慢性骨髄性白血病における分子標的治療後の残存腫瘍の高感度定量法と治療法の開発	安部 明弘	血液内科	1,950,000	補委	日本学術振興会
遺伝子発現パターンに基づく急性白血病のヒエラルキーの解明	谷ヶ崎 博	成長発達医学	2,470,000	補委	日本学術振興会
上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害薬による薬疹の病態解明	杉浦 一充	医療経営管理部	1,950,000	補委	日本学術振興会
多数の分子複合体からセントロメア自己抗原を選択誘導する刺激応答の解明	室 慶直	皮膚結合組織病態学	1,950,000	補委	日本学術振興会

統合失調症モデル動物および死後脳における神経病理学的検討	入谷 修司	発達・老年精神医学	1,040,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜転移と制癌剤感受性における癌幹細胞の役割	小寺 泰弘	消化器外科学	2,730,000	補委	日本学術振興会
複数の癌特異的遺伝子を標的とした分子標的治療の開発	國料 俊男	腫瘍外科	2,210,000	補委	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫における肺内アスベスト濃度と遺伝子異常の関連について	横井 香平	呼吸器外科学	2,340,000	補委	日本学術振興会
ポストゲノム時代における良性脳腫瘍のエピジェネティクス・バイオマーカーの開発	斎藤 清	脳神経外科学	2,600,000	補委	日本学術振興会
交感神経興奮に伴う肺血管透過性亢進機序の解明とARDS治療法の開発	西脇 公俊	麻酔・蘇生医学	1,950,000	補委	日本学術振興会
気腹圧が腎微小循環に与える影響	服部 良平	泌尿器科学	1,170,000	補委	日本学術振興会
遺伝子改変動物を用いた加齢性難聴および騒音性難聴の病態解明と治療への応用	寺西 正明	耳鼻咽喉科学	2,990,000	補委	日本学術振興会
一酸化窒素合成酵素(NOS)トランスジェニックマウスの作成とその視機能解析	米今 敬一	眼科学	3,380,000	補委	日本学術振興会
ロドプシントランスジェニックウサギの系統樹立と変性過程の解析	近藤 峰生	感覚器障害制御学	1,950,000	補委	日本学術振興会
感染創に対する細胞治療の可能性	亀井 譲	形成外科学	650,000	補委	日本学術振興会
上皮間葉転換に基づく細胞膜型ペプチド分解酵素を分子標的とした卵巣癌腹膜転移の抑制	梶山 広明	産科婦人科	4,420,000	補委	文部科学省
脂肪細胞由来因子の心血管リモデリング制御機構の解明と治療への応用	柴田 玲	循環器内科	10,920,000	補委	文部科学省
肺気道リモデリングにおけるメカニカルストレスの役割	伊藤 理	呼吸器内科	5,200,000	補委	文部科学省
ミルナシプランの口腔内灼熱症候群に対する臨床効果の検討	木村 宏之	精神科	1,040,000	補委	文部科学省
慢性心不全に対する予後予測因子の網羅的探索	平敷 安希博	検査部	1,950,000	補委	文部科学省
中膜平滑筋層を有した心臓血管組織再生法の開発	六鹿 雅登	心臓外科	1,690,000	補委	文部科学省
骨軟部腫瘍領域のイクイヴァレント・クロスリラクゼーション・レイト	筑紫 聡	整形外科	1,820,000	補委	文部科学省
脊髄損傷におけるケラタン硫酸の意義	伊藤 全哉	整形外科	1,300,000	補委	文部科学省
磁性微粒子を用いた眼内への遺伝子導入法の開発とインビボにおけるプロモーター解析	加地 秀	眼科	1,300,000	補委	文部科学省
Flatmount法を用いた毛様体・網膜幹細胞からの視細胞再生についての解析	西口 康二	眼科	1,950,000	補委	文部科学省
幹細胞を用いた骨再生医療におけるWntシグナルの影響に関する研究	片桐 渉	歯科口腔外科	1,560,000	補委	文部科学省
高齢者介護施設における整容・美容ケアマネジメントシステムの構築	平川 仁尚	老年科	1,170,000	補委	文部科学省
慢性腎疾患における冠動脈血管内超音波を用いた網羅的探索	石井 秀樹	循環器内科	2,210,000	補委	文部科学省
cyclinCによる造血幹細胞の機能制御メカニズムの解析	宮田 泰彦	血液内科	1,820,000	補委	文部科学省
大動脈瘤に対するラッピング効果とDDSを利用した低侵襲治療法の開発	江田 匡仁	心臓外科	2,600,000	補委	文部科学省
遺伝子導入細胞障害性T細胞による悪性グリオーマへの養免疫療法の開発	島戸 真司	遺伝子・再生医療センター	2,340,000	補委	文部科学省
脊髄損傷に対するコンドロイチナーゼABC, ケラタナーゼの治療効果	今釜 史郎	整形外科	2,210,000	補委	文部科学省

組織工学的手法を用いた唾液腺の再生治療に関する研究	杉戸 孝行	歯科口腔外科	2,210,000	補委	文部科学省
組織工学的手法を応用した急速骨延長法における細胞動態の検討	木下 一彦	歯科口腔外科	1,560,000	補委	文部科学省
プロテオーム解析による統合失調症関連分子の同定	永井 拓	薬剤部	1,170,000	補委	文部科学省
院内感染によって付加的に発生する医療費の評価手法に関する研究	小野寺 睦雄	救急・集中治療医学	650,000	補委	文部科学省
乳癌の拡がり診断: 3T-MRIを用いた表在用RVSシステムの臨床応用	西尾 明子(澤木明子)	放射線科	1,950,000	補委	文部科学省
間葉系幹細胞とナノテクノロジー3次元マトリックスを用いた骨再生療法の開発	伊藤 憲治	臨床細胞治療学寄附講	1,690,000	補委	文部科学省
組織工学的手法とパルス電磁場刺激を応用した顎骨再生に関する研究	八島 明弘	顎顔面外科学	1,170,000	補委	文部科学省
磁性ナノ微粒子を用いた細胞シート移植による心血管再生療法の開発	石井 正和	プロテアーゼ臨床応用学	2,600,000	補委	文部科学省
DM腎症の網羅的遺伝子発現解析: NF- κ B、IRBに対する治療法開発	安田 宣成	腎臓内科	2,340,000	補委	文部科学省
卵巣癌がん幹細胞の上皮間葉転換の解析と上皮間葉転換制御による癌進展抑制の研究	寺内 幹雄	産婦人科学	1,560,000	補委	文部科学省
口腔癌に対する樹状細胞を用いた磁場誘導組織内温熱免疫療法	山本 憲幸	顎顔面外科学	1,560,000	補委	文部科学省
新規抗菌分泌タンパクFDC-SPを応用した予防医療的ハイブリッド歯周治療法の開発	中村 さやか	歯科口腔外科	1,742,000	補委	日本学術振興会
新規Akt基質Girdinの制御による血管新生内膜の抑制	前田 健吾	循環器内科	1,742,000	補委	日本学術振興会
臍帯血移植後の腫瘍抗原およびアロ抗原に対する免疫反応の解析	西田 徹也	難治感染症部	1,742,000	補委	日本学術振興会
慢性骨髄性白血病幹細胞の同定と治療モデルの開発	南 陽介	血液内科	1,690,000	補委	日本学術振興会
スタチンナノファイバーを用いた局所異所性の骨再生に関する研究	水野 大生	消化器外科1	1,742,000	補委	日本学術振興会
生活習慣病における酸化ストレス依存性血管前駆細胞制御機構の解明	坂東 泰子	循環器内科学	1,755,000	補委	日本学術振興会
内皮細胞における抗原抗体反応後に起こるシグナル伝達に関する研究	岩崎 研太	免疫機能制御学寄附講	1,170,000	補委	日本学術振興会
卵巣明細胞腺癌に特異的に発現するGlypican 3の分子標的治療の確立	梅津 朋和	産婦人科学	1,742,000	補委	日本学術振興会
臨床判断能力を涵養する外来診療教育プログラム開発	伴 信太郎	総合診療部	800,000	補委	日本学術振興会
新規薬物依存タンパクshatiの生理機能解析	新田 淳美	薬剤部	600,000	補委	日本学術振興会
「歯のドック」歯・歯周再生療法の開発	日比 英晴	顎顔面外科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
医療組織における安全に対する研修・教育プログラムとその評価に関する研究	相馬 孝博	医療安全管理部	1,400,000	補委	日本学術振興会
抜去歯由来幹細胞による骨、歯髄、象牙質再生療法と発見的細胞治療法、同種移植研究	山田 陽一	遺伝子・再生医療センター	1,100,000	補委	日本学術振興会
上皮間葉系細胞転換(EMT)分子(NOTCH)を標的にした固形癌制御の研究	長谷川 好規	呼吸器内科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
古細菌プロテアソームによる神経変性疾患の治療	祖父江 元	神経内科学	900,000	補委	日本学術振興会
エオジン好性核内封入体(NIHID)の原因遺伝子の探索・同定	田中 章景	神経内科学	700,000	補委	日本学術振興会
低酸素培養による歯髄幹細胞の分画の選択培養とそのキャラクタライズ	上田 実	顎顔面外科学	1,600,000	補委	日本学術振興会

若年型骨髄単球性白血病における多段階発症モデルの提唱	小島 勢二	小児科学	1,400,000	補委	日本学術振興会
プロテオーム解析による統合失調症と双極性障害の病態に共通する分子の探索	尾崎 紀夫	精神医学	1,600,000	補委	日本学術振興会
軟骨細胞の代謝に対する各種薬剤の影響の検討—スクリーニングシステムの構築—	石黒 直樹	整形外科学	1,400,000	補委	日本学術振興会
遊離骨膜の大網上移植に対する骨形成とアポトーシスの検討	鳥居 修平	形成外科学	2,500,000	補委	日本学術振興会
変異チロシンキナーゼを標的とした白血病治療薬の開発	直江知樹	血液・腫瘍内科学	74,000,000	補委	独立行政法人医薬基盤研究所
神経発達関連因子を標的とした統合失調症の分子病態解明	貝淵弘三	神経情報薬理学	100,815,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
統合失調症の抗精神病薬反応性に関する研究(統括)	尾崎紀夫	精神医学	91,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
フロン及び1,1-トリクロロエタンの代替有機溶剤(トリクロロエチレン)使用者に多発する重症型皮膚-肝障害のメカニズム解明と予防に関する戦略的研究	那須民江	環境労働衛生学	2,608,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
高齢者の生活習慣病対策およびその対策に関する健康情報についての研究	大西丈二	老年情報学(中部電力)寄附講座	1,000,000	補委	愛知県
宇宙空間でのゲノム恒常性を調べるための際標家計の確立	鈴木元	分子腫瘍学	500,000	補委	財団法人日本宇宙フォーラム
疾患モデルブタの研究開発	門松健治	分子生物学	16,000,000	補委	独立行政法人農業生物研究所
臓器移植用モデルブタの研究開発	小林孝彰	免疫機能制御学寄附講座	85,000,000	補委	独立行政法人農業生物研究所
臍帯血及び胎児付属物を用いた循環器疾患に対する再生医療に関する研究	室原豊明	循環器内科学	25,000,000	補委	国立循環器病センター
カーテールインターベンションの教育訓練システムの構築と有効性に関する研究	宮地茂	脳血管内治療学	800,000	補委	国立循環器病センター
iPS細胞由来血管前駆細胞を用いた新規血管再生医療の展開研究	室原豊明	循環器内科学	49,920,000	補委	文部科学省
中核施設での人材養成事業の長期的効果に関する研究総括・エジプト看護教育プロジェクトの長期効果	青山温子	国際保健医療学	3,000,000	補委	国立国際医療センター
医学生に対する国際保健医療学講義の効果的な実施方法に関する研究	川口レオ	国際保健医療学	1,000,000	補委	国立国際医療センター
脳神経外科用インテリジェント手術機器開発	梶田泰一	脳神経外科	31,396,050	補委	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
高齢者が地域で交流できる場の研究	大西丈二	老年情報学(中部電力)寄附講座	100,000	補委	名古屋市東区
医歯薬学分野に関する学術動向の調査・研究	那須民江	環境労働衛生学	3,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
中枢神経系の温存的神経再生療法の確立に関する開発的研究	貝淵弘三	神経情報薬理学	1,800,000	補委	国立精神・神経センター
妊産婦に生じるうつ病の生物心理社会的因子解明と治療ガイドラインの作成	尾崎紀夫	精神医学	1,100,000	補委	国立精神・神経センター
先天性筋無力症候群の分子病態解明と治療法開発研究	大野欽司	神経遺伝情報学	1,500,000	補委	国立精神・神経センター
重要課題解決型研究等の促進 アスベスト関連疾患への総括的取り組み	豊國伸哉	生体反応病理学	12,836,257	補委	文部科学省
ディーゼル排気ナノ微粒子の健康影響に関する新しいバイオマーカーの開発およびリスク評価に関する研究	那須民江	環境労働衛生学	12,111,000	補委	環境省
小児期特異的血液疾患の分子遺伝学的解析(分担課題)先天性骨髄機能不全の分子遺伝学的解析	小島勢二	小児科学	1,000,000	補委	国立成育医療センター

弧発性ALSのモデル動物作成を通じた分子標的治療開発	祖父江元	神経内科学	32,500,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
骨セメントによる椎体形成術の標準化	松山幸弘	リウマチ学	1,000,000	補 委	国立長寿医療センター
前立腺全摘除術の合併症に関する全国調査	服部良平	泌尿器科学	1,000,000	補 委	国立長寿医療センター
高齢者の糖尿病、肥満に関する遺伝子多型の検討	葛谷雅文	老年科学	500,000	補 委	国立長寿医療センター
肺癌の発生・進展に関わる疾患関連遺伝子の検討	高橋隆	分子腫瘍学	5,000,000	補 委	文部科学省
脳腫瘍のアルキル化抗がん剤耐性タンパク活性のPETイメージング診断法の開発	若林俊彦	脳神経外科学	1,036,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
von Willebrand因子を含む第八因子製剤の有用性について	直江知樹	血液・腫瘍内科学	100,000	補 委	財団法人化学及血清療法研究所
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)	安部 哲也	消化器外科一	136,500	補 委	財団法人 がん集学的治療研究財団
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法との比較検討)	小寺 泰弘	消化器外科二	136,500	補 委	財団法人 がん集学的治療研究財団
不妊に悩む男女の実態に関する調査研究	岩瀬 明	周産母子センター	5,307,000	補 委	愛知県
心血管系疾患の危険因子を有する高齢者高血圧患者に対するAT1受容体拮抗薬を基礎薬としたカルシウム拮抗薬または少量利尿薬の併用試験	宮地 茂	脳神経外科	21,000	補 委	COLM-Study研究会
心血管系疾患の危険因子を有する高齢者高血圧患者に対するAT1受容体拮抗薬を基礎薬としたカルシウム拮抗薬または少量利尿薬の併用試験	室原 豊明	循環器内科	21,000	補 委	COLM-Study研究会
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	中尾 昭公	消化器外科二	136,500	補 委	財団法人先端医療振興財団
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	柳野 正人	消化器外科一	204,750	補 委	財団法人先端医療振興財団
乳癌に対する腫瘍特異的温熱免疫治療法の開発	今井 常夫	乳腺・内分泌外科	2,000,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
ピリドキサルリン酸を用いた皮膚老化防止剤の開発	丹羽 利充	予防医療部	2,000,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
新規タンパク血中濃度測定による精神疾患早期診断キットの開発	新田 淳美	薬剤部	2,000,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
親子内視鏡によるヒト糸球体微小循環診断ソフトの開発	山本 徳則	泌尿器科	5,000,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
難治性ニューロパチーの病態に基づく新規治療法の開発	服部 直樹	神経内科	750,000	補 委	国立精神・神経センター
グリア細胞株由来神経栄養因子の産生を誘導するペプチドの緑内障治療薬としての応用	新田 淳美	薬剤部	3,965,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構

高齢者包括的・全人的医療に関わる標準的医療システムの開発に関する研究	梅垣 宏行	老年科	1,500,000	補 委	国立長寿医療センター
------------------------------------	-------	-----	-----------	--------	------------

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocrinology 149: 5803, 2008	Novel Treatment for Lithium-Induced Nephrogenic Diabetes Insipidus Rat Model Using the Sendai-Virus Vector Carrying Aquaporin 2 Gene.	Hidetaka Suga, Hiroshi Nagasaki, Yutaka Oiso et al.	糖尿病・内分泌内科
Diabetes. 57:3099, 2008.	Transplantation of bone marrow-derived mesenchymal stem cells improves diabetic polyneuropathy in rats.	Shibata T, Naruse K, Oiso Y	糖尿病・内分泌内科
Nephrology	Serine/threonine kinase, Cot/Tpl2, regulates renal cell apoptosis in ischaemia/reperfusion injury.	八尾村 多佳朗	腎臓内科
American journal of physiology-Renal physiology	Mineralocorticoid receptor blockade ameliorates peritoneal fibrosis in new rat peritonitis model.	西村 勇人	腎臓内科
Journal of the American Society of Nephrology	Overexpression of calmodulin in pancreatic beta cells induces diabetic nephropathy.	湯澤 由紀夫	腎臓内科
Laboratory investigation	The pivotal role of VEGF on glomerular macrophage infiltration in advanced diabetic nephropathy.	佐藤 和一	腎臓内科
American journal of Pathology	Lipid droplet-associated proteins protect renal tubular cells from fatty acid-induced apoptosis.	浦濱 善倫	腎臓内科
Development Growth and Differentiation	Kidney regeneration through nephron neogenesis in medaka.	渡辺直樹	農学部 (腎臓内科)
Immunology and Cell Biology	Injection of bleomycin in newborn mice induces autoimmune sialitis that is transferred by CD4 T cells.	石川 英昭	腎臓内科
Journal of Investigative Dermatology	Induction of Autoimmunity in a Bleomycin-Induced Murine Model of Experimental Systemic Sclerosis: An Important Role for CD4(+) T Cells.	石川 英昭	腎臓内科
Schizophr Res	Genetic analysis of the gene coding for DARPP-32 (PPP1R1B) in Japanese patients with schizophrenia or bipolar disorder.	尾崎紀夫	精神科
Hum Psychopharmacol	Influence of the tyrosine hydroxylase val81met polymorphism and catechol-O-methyltransferase val158met polymorphism on the antidepressant effect of milnacipran.	尾崎紀夫	精神科
Arch Gen Psychiatry	Genome-wide association for methamphetamine dependence: convergent results from 2 samples.	尾崎紀夫	精神科

Int J Neuropsychopharmacol	Genetic polymorphisms in the 5-hydroxytryptamine type 3B receptor gene and paroxetine-induced nausea.	尾崎紀夫	精神科
Neuroreport	An association study of tachykinin receptor 3 gene with schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科
Psychiatry	The Dysbindin Gene (DTNBP1) Is Associated with Methamphetamine Psychosis.	尾崎紀夫	精神科
Neurosci Lett	Relationship between three serotonin receptor subtypes (HTR3A, HTR2A and HTR4) and treatment-resistant schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科
Hum Psychopharmacol	The effects of acute treatment with paroxetine, amitriptyline, and placebo on driving performance and cognitive function in healthy Japanese subjects: a double-blind crossover trial.	尾崎紀夫	精神科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	No association between the protein tyrosine phosphatase, receptor-type, Z Polypeptide 1 (PTPRZ1) gene and schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科
Neurosci Lett	A genetic association study of the FXD domain containing ion transport regulator 6 (FXD6) gene, encoding phosphohippolin, in susceptibility to schizophrenia in a Japanese population.	尾崎紀夫	精神科
Pharmacogenet Genomics	Pathway-based association analysis of genome-wide screening data suggest that genes associated with the gamma-aminobutyric acid receptor signaling pathway are involved in neuroleptic-induced, treatment-resistant tardive dyskinesia.	尾崎紀夫	精神科
Pharmacogenomics	Variants of dopamine and serotonin candidate genes as predictors of response to risperidone treatment in first-episode schizophrenia.	尾崎紀夫	精神科
Schizophr Res	Failure to replicate the association between NRG1 and schizophrenia using Japanese large sample.	尾崎紀夫	精神科
Hum Mol Genet 17	Identification of YWHAE, a gene encoding 14-3-3epsilon, as a possible susceptibility gene for schizophrenia.	尾崎紀夫	精神科
J Hum Genet	No association between the oligodendrocyte-related gene PLP1 and schizophrenia in the Japanese population.	尾崎紀夫	精神科
The British journal of surgery	Mild hepatic macrovesicular steatosis may be a risk factor for hyperbilirubinaemia in living liver donors following right hepatectomy	Nagai S,Fujimoto Y,Kamei H,NakamuraT,Kiuchi T	移植外科

Clinical transplantation	Two cases of central venous catheter-related thrombosis in living liver donors: how can the risk be minimized?	Ono Y, Ito Y, Kaneko K, Shibata-Watanabe Y, Tainaka T, Sumida W, Nakamura T,	移植外科
移植	肝移植患者と生体ドナーの身体的・精神的 QOL.	長井俊志、中村太郎、亀井秀弥、伊藤和幸、兼松奈代、加藤千晴、木内哲也	移植外科
移植	成人生体肝移植レシピエントへのクリニカルパス導入.	山本栄和、吉田茂、藤本康弘、高木真紀子、猪股裕紀洋、木内哲也	移植外科
Pancreas	Pancreatic cancer with paraaortic lymph node metastasis: a contraindication for radical surgery?	Yamada S, Nakao A, Fujii T, Sugimoto H, Kanazumi N, Nomoto S, Koderu Y, Takeda S	消化器外科2
J Surg Oncol	The tumor suppressor NPRL2 in hepatocellular carcinoma plays an important role in progression and can be served as an independent prognostic factor	Otani S, Takeda S, Yamada S, Sakakima Y, Sugimoto H, Nomoto S, Kasuya H, Kanazumi N, Nagasaka T, Nakao A	消化器外科2
Cancer Chemother Pharmacol	Consideration for intravascular administration of oncolytic herpes virus for the treatment of multiple liver metastases	Nomura N, Kasuya H, Shikano T, Shirota T, Misawa M, Sugimoto H, Kanazumi N, Nomoto S, Takeda S, Nakao A	消化器外科2

European Journal of Surgical Oncology	A phase II study of radical surgery followed by postoperative chemotherapy with S-1 for gastric carcinoma with free cancer cells in the peritoneal cavity (CCOG0301 study)	Kodera Y, Ito S, Mochizuki Y, Kondo K, Koshikawa K, Suzuki N, Kojima H, Kojima T, Matsui T, Takase T, Tsuboi K, Fujiwara M, Nakao A; for Chubu Clinical Oncology Group.	消化器外科2
Surgery Today	Cystic lymphangioma of the gallbladder: report of a case	Shikano T, Takeda S, Sakai M, Sugimoto H, Kanazumi N, Nomoto S, Nakao A	消化器外科2
J Surg Oncol	Correlations of the expression of vascular endothelial growth factor B and its isoforms in hepatocellular carcinoma with clinico-pathological parameters	Kanda M, Nomoto S, Nishikawa Y, Sugimoto H, Kanazumi N, Takeda S, Nakao A	消化器外科2
Br J Cancer	Adverse prognosis of epigenetic inactivation in RUNX3 gene at 1p36 in human pancreatic cancer	Nomoto S, Kinoshita T, Mori T, Kato K, Sugimoto H, Kanazumi N, Takeda S, Nakao A	消化器外科2
World J Surg	The number of metastatic lymph nodes is a significant risk factor for bone metastasis and poor outcome after surgery for linitis plastica-type gastric carcinoma	Kodera Y, Ito S, Mochizuki Y, Yamamura Y, Misawa K, Ohashi N, Nakayama G, Koike M, Fujiwara M, Nakao A	消化器外科2
Ann Surg Oncol	Multivariate Analysis of the Pathologic Features of Esophageal Squamous Cell Cancer: Tumor Budding Is a Significant Independent Prognostic Factor	Koike M, Kodera Y, Itoh Y, Nakayama G, Fujiwara M, Hamajima N, Nakao A	消化器外科2

In Vivo	The effect of chemotherapy against micrometastases and isolated tumor cells in lymph nodes: an in vivo study	Eguchi T, Kodera Y, Nakanishi H, Yokoyama H, Ohashi N, Ito Y, Nakayama G, Koike M, Fujiwara M, Nakao A	消化器外科2
Liver Int	Intra-operative application of real-time tissue elastography for the diagnosis of liver tumours	Kato K, Sugimoto H, Kanazumi N, Nomoto S, Takeda S, Nakao A	消化器外科2
Oncol Rep	Expression of CXCL12 and CXCR4 in pT3-stage gastric cancer does not correlate with peritoneal metastasis	Tsuboi K, Kodera Y, Nakanishi H, Ito S, Mochizuki Y, Nakayama G, Koike M, Fujiwara M, Yamamura Y, Nakao A	消化器外科2
Hepatogastroenterology	PAI-1 expression levels in gastric cancers are closely correlated to those in corresponding normal tissues	Sakakibara T, Hibi K, Koike M, Fujiwara M, Kodera Y, Ito K, Nakao A	消化器外科2
Hepatogastroenterology	Navigation for laparoscopic gastrectomy with 3-dimensional computed tomography (3D-CT)	Fujiwara M, Kodera Y, Satake H, Misawa K, Miura S, Nakayama G, Ohashi N, Koike M, Nakao A	消化器外科2
Cancer Chemother Pharmacol	Effects of tumor selective replication-competent herpes viruses in combination with gemcitabine on pancreatic cancer. Cancer Chemother Pharmacol	Watanabe I, Kasuya H, Nomura N, Shikano T, Shirota T, Kanazumi N, Takeda S, Nomoto S, Sugimoto H, Nakao A	消化器外科2
J Am Coll Surg	Longterm outcomes of early-stage gastric carcinoma patients treated with laparoscopy-assisted surgery	Fujiwara M, Kodera Y, Misawa K, Kinoshita M, Kinoshita T, Miura S, Ohashi N, Nakayama G, Koike M, Nakao A	消化器外科2
日本小児血液学会雑誌 22(1):70-76、2008.2	後天性再生不良性貧血に対する治療の現況と今後の展望	小島勢二	小児科

日本小児アレルギー学会誌 22:403-416, 2008.	喘息死委員会レポート2007	坂本龍雄	小児科
日本小児アレルギー学会誌 22:417-424, 2008.	日韓招待講演報告	坂本龍雄	小児科
アレルギー 57:949-959, 2008.	専門医のためのアレルギー学講座:真菌アレルゲンの免疫生物学とアレルギー疾患	坂本龍雄	小児科
J Nephrol, in press	Beneficial effect of chlorambucil in steroid-dependent and cyclophosphamide-resistant minimal change nephrotic syndrome.	上田典司	小児科
発達段階からみた小児看護過程:編集:石黒彩子、浅野みどり、医学書院、2008, pp332-337、	ネフローゼ症候群	上田典司	小児科
発達段階からみた小児看護過程:編集、石黒彩子、浅野みどり、医学書院2008, pp395-399、	尿路船感染症	上田典司	小児科
発達段階からみた小児看護過程:編集、石黒彩子、浅野みどり、医学書院2009	急性糸球体腎炎(急性腎炎症候群)、pp519-524	上田典司	小児科
日本小児科学会雑誌 112(11):1637-1646, 2008.11	新生児脳波 早産児の脳波と発達	早川昌弘	小児科
19章:DOHaDの視点から見た発達異常発症機序 p147~151, 編集 板橋家頭夫 松田義雄, 金原出版, 2008	DOHaD その基礎と臨床	早川昌弘	小児科
周産期学(シンポジウム) 26:75-79. 2008.9	周産期の栄養 超低出生体重児の栄養状態・合併症と脳波成熟遅延についての検討	早川昌弘	小児科

Epilepsia 49(5): 826-831, 2008 (神経)	Alpha-[11C]methyl-L-tryptophan uptake in patients with periventricular nodular heterotopia and epilepsy.	夏目 淳	小児科
Epilepsia 49(S7): 410, 2008 (神経)	FGD-PET after initial treatments predicts 10-year developmental outcome in cryptogenic West syndrome.	夏目 淳	小児科
J Infect Dis 197:663-666, 2008(ウイルス)	Oligonucleotide Microarray Analysis of Gene Expression Profiles followed by a Real-time RT-PCR Assay in Chronic Active Epstein-Barr Virus Infection.	伊藤嘉規	小児科
小児内科 増刊号 小児疾患診療のための病態生理I 第4版 40:1130-1135, 2008	単純ヘルペスウイルス感染症	伊藤嘉規	小児科
J Clin Invest 118: 1099-1109, 2008	Regression of human kidney cancer following allogeneic stem cell transplantation is associated with recognition of an HERV-E antigen by T cells	高橋義行	小児科
小児外科 40:1021-1026, 2008.9	マススクリーニング発見、無治療経過観察5年後に再増大、骨転移をきたした神経芽腫	高橋義行	小児科
Br J Haematol 140: 552-561, 2008	Acute megakaryoblastic leukaemia (AMKL) in children: a comparison of AMKL with and without Down syndrome	濱 麻人	小児科
Blood, 111, 2493-2494, 2008.	Mutations of JAK2, JAK3 and GATA1 in acute megakaryoblastic leukemia of Down syndrome.	濱 麻人	小児科
Journal of Pediatric Hematology and Oncology 31:339-343, 2009	Plasmacytoid Dendritic Cell Leukemia in Children	濱 麻人	小児科
J Pediatr Hematol Oncol 30: 692-695, 2008	Congenital erythroid and myeloid hypoplasia terminating myelodysplastic syndrome	西尾信博	小児科

Pediatr Transplant. 2008 Nov 1. [Epub ahead of print]	Engraftment syndrome following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in children.	西尾信博	小児科
Bone Marrow Transplantation in press, 2009	Late-onset non-infectious pulmonary complications following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in children	西尾信博	小児科
International Journal of Hematology in press, 2009	Natural History of Transfusion-independent non-Severe Aplastic Anemia in children	西尾信博	小児科
Br J Haematol 142 610-615, 2008	Risk factors for early death in neonates with Down syndrome and transient leukaemia	村松秀城	小児科
日本臨床 66 (3):544- 547, 2008.3	総合診療における貧血 小児科領域	村松秀城	小児科
日本小児血液学会雑 誌 22 (2):126-128、 2008.2	急性白血病との鑑別を必要とした先天梅毒の 1例	村松秀城	小児科
Bone Marrow Transplantation 43:83-84, 2009	Primary infection of human herpesvirus-6 in an infant who received cord blood SCT	村松秀城	小児科
臨床眼科63巻2号123- 128 2009/2/1	【未熟児網膜症診療の最前線】未熟児診療 の現状	山本ひかる	小児科
Clin Infect Dis 46:1525-1534, 2008	Clinical and virologic characteristics of 15 patients with chronic active Epstein-Barr virus infection treated with hematopoietic stem cell transplantation.	後藤研誠	小児科
Monthly Book Derma 147:1-4, 2008	ヘルペス脳炎の診断	河邊慎司	小児科
Brain and Development Epub ahead of print 2008.9.1	Efficacy of a diazepam suppository at preventing febrile seizure recurrence during a single febrile illness	平林 優	小児科
臨床血液 49:1142, 2008.9	小児再生不良性貧血における制御性T細胞 (Treg)の動態とATGによるTregの増加につい て	プストス・イツエル	小児科

Experimental Neurology Epub ahead of print 2009	Behavioral abnormalities of fetal growth retardation model rats with reduced amounts of brain proteoglycans	齋藤明子	小児科
Pediatr Pulmonol. 44(3): 297-9, 2009/3	Allergic bronchopulmonary aspergillosis in a 2-year-old asthmatic boy with immune dysregulation, polyendocrinopathy, enteropathy, X-linked.	大島美穂子	小児科
Neurourology and Urodynamics	Impact of urinary incontinence on the psychological burden of family caregivers	Momakazu Gotoh	泌尿器科
Urology	Direct visualization of renal hemodynamics affected by carbon-dioxide induced pneumoperitoneum.	Naoto Sassa	泌尿器科
World Journal of Urology	Pure laparoscopic complete excision of distal ureter with a bladder cuff for upper tract urothelial	Ryohei Hattori	泌尿器科
Transplantation Proceedings	Conversion from mycophenolate mofetile to mizoribine for patients with positive polyomavirus type BK in urine	Yasuhito Funahashi	泌尿器科
Urology	The Change in contralateral renal parenchymal volume one week after unilateral nephrectomy	Yasuhito Funahashi	泌尿器科
European urology	Ischemic renal damage after nephron-sparing surgery in patients with normal contralateral kidney	FUNAHASHI YASUO (KATO KATSUHIKO)	泌尿器科 放射線科
International Journal of Urology	Urodynamic evaluation of vesicourethral function following laparoscopic radical prostatectomy: comparison with open radical prostatectomy	Yoshihisa Matsukawa	泌尿器科
Luts	Efficacy of propiverine in improving symptoms and quality of life in female patients with wet overactive bladder	Tomonori Komatsu	泌尿器科
Clin Radiol	Focal inflammation in the embryological ventral pancreas: assessment using CT and MRI.	ITOH SHIGEKI	名古屋大学医学 部保健学科(放 射線科)

Cardiovasc Intervent Radiol	Endovascular Management of Ruptured Pancreaticoduodenal Artery Aneurysms Associated with Celiac Axis Stenosis	SUZUKI KOJIRO	放射線科
Laryngoscope	Three-Dimensional Fluid-Attenuated Inversion Recovery Magnetic Resonance Imaging Findings and Prognosis in Sudden Sensorineural Hearing Loss.	YOSHIDA TADAO (NAGANAWA SHINJI)	耳鼻咽喉科 (放射線科)
Acta Otolaryngol	Imaging analysis in cases with inflammation-induced sensorineural hearing loss.	SONE MICHIIHIKO (NAGANAWA SHINJI)	耳鼻咽喉科 (放射線科)
Radiat Med	Development and evaluation of a novel lossless image compression method (AIC: artificial intelligence compression method) using neural networks as artificial intelligence.	FUKATSU HIROSHI	放射線科
Radiology	Intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas: assessment of the likelihood of invasiveness with multisection CT.	OGAWA HIROSHI	放射線科
Abdom Imaging	Arteriovenous malformation of the pancreas: assessment of clinical and multislice CT features.	OGAWA HIROSHI	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Incidence of brain atrophy and decline in mini-mental state examination score after whole-brain radiotherapy in patients with brain metastases: a prospective study.	SHIBAMOTO YUTA (ISHIHARA SHUNICHI)	名古屋市立大学 (放射線科)
Comput Med Imaging Graph	Computer-aided differentiation of malignant from benign solitary pulmonary nodules imaged by high-resolution CT.	IWANO SHINGO	放射線科
Clin Nucl Med	Diagnostic Whole-Body Scanning Before Radioiodine Therapy for Pulmonary Metastases of Differentiated Thyroid Cancer. Predictive Value and Recommendations.	TACHI YASUSHI (KATO KATSUHIKO)	小牧市民病院 (放射線科)
Gen Thorac Cardiovasc Surg.	Primary aortic intimal sarcoma	WATARU KATO (KATO KATSUHIKO)	心臓外科 (放射線科)
Neuro Oncol	Primary central nervous system lymphoma in Japan: changes in clinical features, treatment, and prognosis during 1985-2004	SHIBAMOTO YUTA (ISHIHARA SHUNICHI)	名古屋市立大学 (放射線科)

Int J Radiat Oncol Biol Phys	Adverse effects of androgen deprivation therapy on persistent genitourinary complications after carbon ion radiotherapy for prostate cancer.	ISHIKAWA HITOSHI (HIRASAWA NAOKI)	放射線医学総合研究所 (放射線科)
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Carbon ion radiation therapy for primary renal cell carcinoma: initial clinical experience.	NOMIYA TAKUMA (HIRASAWA NAOKI)	放射線医学総合研究所 (放射線科)
Clin Nucl Med	FDG PET in Lhermitte-Duclos disease.	HAYASAKA KAZUMASA (NIHASHI TAKASHI)	国立長寿医療センター (放射線科)
J Clin Oncol	Fluorine-18-Fluorodeoxyglucose Positron Emission Tomography for Interim Response Assessment of Advanced-Stage Hodgkin's Lymphoma and Diffuse Large B-cell Lymphoma: A Systematic Review	TERASAWA TERUHIKO (NIHASHI TAKASHI)	Tufts Medical center (放射線科)
Radiat Med	Communication between cochlear perilymph and cerebrospinal fluid through the cochlear modiolus visualized after intratympanic administration of Gd-DTPA	NAGANAWA SHINJI	放射線科
Magn Reson Med Sci	Visualization of Neuromelanin in the Substantia Nigra and Locus Ceruleus at 1.5T Using a 3D-gradient Echo Sequence with Magnetization Transfer Contrast.	NAKANE TOSHIKI	放射線科
Cardiovasc Intervent Radiol.	Stent-Graft Treatment for Bleeding Superior Mesenteric Artery Pseudoaneurysm After Pancreaticoduodenectomy.	SUZUKI KOJIRO	放射線科
Acta Oto-Laryngologica	Cutting edge of inner ear MRI	NAGANAWA SHINJI	放射線科
Acta Oto-Laryngologica	Grading of endolymphatic hydrops using magnetic resonance imaging	NAKASHIMA TSUTOMU (NAGANAWA SHINJI)	耳鼻咽喉科 (放射線科)
Acta Oto-Laryngologica	Clinical significance of endolymphatic imaging after intratympanic gadolinium injection	NAKASHIMA TSUTOMU (NAGANAWA SHINJI)	耳鼻咽喉科 (放射線科)
Acad Radiol	3D-CT volumetry of the lung using multidetector row CT: comparison with pulmonary function tests.	IWANO SHINGO	放射線科

Magn Reson Med Sci	Endolymphatic Hydrops of the Labyrinth Visualized on Noncontrast MR Imaging: A Case Report.	NAGANAWA SHINJI	放射線科
Eur J Paediatr Neurol.	Diffusion tensor imaging in infants with basal ganglia-thalamic lesions.	OKUMURA AKIHISA (NAGANAWA SHINJI)	順天堂大学 (放射線科)
専門医のための麻酔科学レビュー	「麻酔と腎機能」	貝沼関志	麻酔科
症例から学ぶ呼吸管理—プロの呼吸管理と全身ケア	心臓手術前後の呼吸管理	貝沼関志	麻酔科
メディカルトリビューン	ICUの医療安全対策—医師・看護師・臨床工学技師から提起「closed ICUは安全対策上 open ICUより優位に」	貝沼関志	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌	中心静脈確保: 大腿静脈アプローチの功罪	貝沼関志	麻酔科
オペナーシング	重症患者の麻酔と看護心肺補助装置等の機器を使用中の患者さん	貝沼関志	麻酔科
日本救急医学会雑誌	外科系集中治療医学からみた救急医学、救急医療と救急医	貝沼関志	麻酔科
臨床麻酔	安全な中心静脈カテーテル挿入管理のために手引き	貝沼関志	麻酔科
小児外科	術後合併症による重症患者に対する経腸栄養投与の効果	貝沼関志	麻酔科
Aneths Analg.	A high concentration of resiniferatoxin inhibits ion channel function in clonal neuroendocrine cells.	Sugimoto K,	麻酔科

Int J Cancer	Opposite impact of NKG2D genotype by lifestyle exposure to risk of aerodigestive tract cancer among Japanese. Opposite impact of NKG2D genotype by lifestyle exposure to risk of aerodigestive tract cancer among Japanese. Opposite impact of NKG2D genotype by lifestyle exposure to risk of aerodigestive tract cancer among Japanese.	Furue H	齒科口腔外科
Differentiation	Effect of ischemic culture conditions on the survival and differentiation of porcine dental pulp-derived cells	Ueda M	齒科口腔外科
Cancer Sci	Up-regulation of CD109 expression is associated with carcinogenesis of the squamous epithelium of the oral cavity	Hagiwara S	齒科口腔外科
J Biomed Mater Res A.	Recovery process of sciatic nerve defect with novel bioabsorbable collagen tubes packed with collagen filaments in dogs	Ueda M	齒科口腔外科
Cytotherapy	Injectable soft-tissue augmentation by tissue engineering and regenerative medicine with human mesenchymal stromal cells, platelet-rich plasma and hyaluronic acid scaffolds.	Ueda M	齒科口腔外科
Nagoya J Med Sci	The induction of dentin bridge-like structures by constructs of subcultured dental pulp-derived cells and porous HA/TCP in porcine teeth	Ueda M	齒科口腔外科
J Biol Chem	Adsorption of FDC-SP onto mineral deposits-application of a new stable gene expression system	Nakamura S	齒科口腔外科
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	Titanium Implant in a Vascularised Scapular Bone Graft after a 6-year Loading Period.	Hibi H	齒科口腔外科
Asian Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	Tibial Bone Fracture after Bone Harvesting from the Tibia	Yamamoto N	齒科口腔外科
Oral Dis.	Transient TWEAK overexpression leads to a general salivary epithelial cell proliferation.	Sugito T	齒科口腔外科

日本口腔外科学会雑誌	口腔癌に対するdocetaxel, cisplatinを用いた浅側頭動脈よりの超選択的動注化学療法と放射線療法との術前連日同時併用療法の有害事象に関する検討	山本憲幸	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	血管造影撮影(DSA)による外頸動脈とその分枝の検討	重富俊雄	歯科口腔外科
J Gene Medicine.	A phase I clinical trial of interferon-beta gene therapy for high-grade glioma: novel findings from gene expression profiling and autopsy.	T Wakabayashi, A natsume, Y hashizume, M Fujii, M Mizuno, J Yoshida	脳神経外科
JJCO	A Multicenter phase I trial of interferon-beta and temozolomide combination therapy for high-grade gliomas (INTEGRA study)	T Wakabayashi, A natsume, Y hashizume, M Fujii, M Mizuno, J Yoshida	脳神経外科
J Neurosurg.	A novel pressure sensor with an optical system for coil embolization of intracranial aneurysms	N Matsubara, S Miyachi, Y Nagano, T Ohshima, O Hosojima, T Izumi, A Tsurumi, T Wakabayashi, M Sakaguchi, A Sano, H Fujimoto	脳神経外科
Neurosurgery	p16 promoter methylation in the serum as a basis for the molecular diagnosis of gliomas	T Wakabayashi, A natsume, Y hashizume, M Fujii, M Mizuno, J Yoshida	脳神経外科
Journal of Neuro-oncology	Synergistic induction of NY-ESO-1 antigen expression by a novel histone deacetylase inhibitor, valproic acid, with 5-aza-2'-deoxycytidine in glioma cells	Oi S, Natsume A, Ito M, Kondo Y, Shimato S, Maeda Y, Saito K, Wakabayashi T	脳神経外科
Pediatr Blood Cancer	Interferon-beta, MCNU, and conventional radiotherapy for pediatric patients with brainstem glioma	Ohno M, Natsume A, Fujii M, Ito M, Wakabayashi T	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica	Preliminary measurement of intraoperative sympathetic nerve activity using microneurography and laser Doppler flowmetry during surgical resection of suprasellar tumors	Kurimoto F, Saito K, Watanabe T, Nagatani T, Nishiwaki K, Wakabayashi T, Iwase S	脳神経外科

Spinal cord	Spinal cord hemangioblastomas in von Hippel-Lindau disease.	Kanno H, Yamamoto I, Nishikawa R, Matsutani M, Wakabayashi T, Yoshida J, Shitara N, Yamasaki I, Shuin T, and Clinical VHL research group in Japan	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo)	Clinical indication for high-field 1.5T intraoperative magnetic resonance imaging and neuro-navigation for neurosurgical procedures -review of initial 100 cases-.	Maesawa S, Fujii M, Nakahara N, Watanabe T, Saito K, Kajita Y, Nagatani T, Wakabayashi T, Yoshida J	脳神経外科
Neurol Med Chir (Tokyo)	Cavernous sinus thrombophlebitis caused by porphyromonas gingivalis with abscess formation extending to the orbital cavity case report	Ito E, Saito K, Nagatani T, Teranishi M, Aimi Y, Wakabayashi T.	脳神経外科
Acta Neurochir (Wien)	Staged bilateral deep brain stimulation of the subthalamic nucleus for the treatment of Parkinson's disease	Tanei T, Wakabayashi T	脳神経外科
Surg Neurol.	Intradural cranial chordoma	Ito E, Saito K, Nagatani T, Teranishi M, Wakabayashi T	脳神経外科
Int J Mol Sci	Neuropathology and therapeutic intervention in spinal and bulbar muscular atrophy	Banno H, Katsuno M, Suzuki K, Tanaka F, Sobue G	神経内科
Eur Neurol	Cognitive impairment in	Kawai Y, Suenaga M, Watanabe H, Sobue G	神経内科
Nat Med	Getting a handle on Huntington's disease: the case for cholesterol	Katsuno M, Adachi H, Sobue G	神経内科

Ann Neurol	Phase 2 trial of leuprorelin in patients with spinal and bulbar muscular atrophy	Banno H, Katsuno M, Suzuki K, Takeuchi Y, Kawashima M, Suga N, Takamori M, Ito M, Nakamura T, Matsuo K, Yamada S, Oki Y, Adachi H, Minamiyama M, Waza M, Atsuta N, Watanabe H, Fujimoto Y, Nakashima T, Tanaka F, Doyu M, Sobue G.	神経内科
Neurology	B-type natriuretic peptide and cardiovalvulopathy in Parkinson disease with dopamine agonist	Watanabe H, Hirayama M, Noda A, Ito M, Atsuta N, Senda J, Kaga T, Yamada A, Katsuno M, Niwa T, Tanaka F, Sobue G	神経内科
Amyotroph Lateral Scler	Correlation between pyramidal tract degeneration and widespread white matter involvement in amyotrophic lateral sclerosis: A study with tractography and diffusion-tensor imaging.	Morozumi S, Kawagashira Y, Iijima M, Koike H, Hattori N, Katsuno M, Tanaka F, Sobue G	神経内科
Hum Mol Genet	17-DMAG ameliorates polyglutamine-mediated motor neuron degeneration through well-preserved proteasome function in an SBMA model mouse	Tokui K, Adachi H, Waza M, Katsuno M, Minamiyama M, Doi H, Tanaka K, Hamazaki J, Murata S, Tanaka F, Sobue G.	神経内科
J Neurol Sci	Clinical diagnosis of Creutzfeldt-Jakob disease: accuracy based on analysis of autopsy-confirmed cases	Iwasaki Y, Mimuro M, Yoshida M, Sobue G, Hashizume Y.	神経内科
J Neurol Sci	Research Committee on the Neurodegenerative Diseases of Japan. Age at onset influences on wide-ranged clinical features of sporadic amyotrophic lateral sclerosis	Atsuta N, Watanabe H, Ito M, Tanaka F, Tamakoshi A, Nakano I, Aoki M, Tsuji S, Yuasa T, Takano H, Hayashi H, Kuzuhara S, Sobue G	神経内科

J Neurol	Electrophysiological features of late-onset transthyretin Met30 familial amyloid polyneuropathy unrelated to endemic foci.	Koike H, Kawagashira Y, Iijima M, Yamamoto M, Hattori N, Tanaka F, Hirayama M, Ando Y, Ikeda S, Sobue G	神経内科
Muscle Nerve	Walking capacity evaluated by the 6-minute walk test in spinal and bulbar muscular atrophy.	Takeuchi Y, Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Kawashima M, Atsuta N, Ito M, Watanabe H, Tanaka F, Sobue G	神経内科
J Neurol Sci	Prefrontal hypoperfusion and cognitive dysfunction correlates in spinocerebellar ataxia type 6	Kawai Y, Suenaga M, Watanabe H, Ito M, Kato K, Kato T, Ito K, Tanaka F, Sobue G.	神経内科
J Neurol Sci	Fractional anisotropy values detect pyramidal tract involvement in multiple system atrophy	Ito M, Watanabe H, Atsuta N, Senda J, Kawai Y, Tanaka F, Naganawa S, Fukatsu H, Sobue G	神経内科
J Neurol Neurosurg Psychiatry	Prevalence and incidence rates of chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy in the Japanese population	Iijima M, Koike H, Hattori N, Tamakoshi A, Katsuno M, Tanaka F, Yamamoto M, Arimura K, Sobue G	神経内科
Neurology	Cognitive impairments in multiple system atrophy: MSA-C vs MSA-P	Kawai Y, Suenaga M, Takeda A, Ito M, Watanabe H, Tanaka F, Kato K, Fukatsu H, Naganawa S, Kato T, Ito K, Sobue G	神経内科, 放射線科
Neuropathology	MM2-cortical-type sporadic Creutzfeldt-Jakob disease with early stage cerebral cortical pathology presenting with a rapidly progressive clinical course	Niimi Y, Iwasaki Y, Umemura T, Tanaka F, Yoshida M, Hashizume Y, Kitamoto T, Hirayama M, Sobue G	神経内科

Curr Mol Med	Molecular genetics and biomarkers of polyglutamine diseases	Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Takeuchi Y, Kawashima M, Tanaka F, Adachi H, Sobue G	神経内科
J Surg Oncol.	Stepwise examination for differential diagnosis of primary lung cancer and breast cancer relapse presenting as a solitary pulmonary nodule in patients after mastectomy.	Okasaka T	呼吸器外科
Lung Cancer	Preoperative evaluation of the depth of chest wall invasion and the extent of combined resections in lung cancer patients.	Kawaguchi K	呼吸器外科
Transplant Proc	Simultaneous monitoring by real-time polymerase chain reaction of epstein-barr virus, human cytomegalovirus, and human herpesvirus-6 in juvenile and adult liver transplant recipients	小野靖之他	小児外科, 小児科
Pediatr Surg Int	Histological assessment of bile lake formation after hepatic portoenterostomy for biliary atresia	田井中貴久他	小児外科
J Pediatr Gastroenterol Nutr	Pancreaticobiliary maljunction without bile duct dilatation in children: Distinction from choledochal cyst	小野靖之他	小児外科
J Pediatr Surg	Fatty acid calcium stones in patients with pancreaticobiliary maljunction/choledochal cyst as another cause of obstructive symptoms besides protein plugs	金子健一朗他	小児外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg	Hypogenesis of intramural vascularity and perivascular plexuses of gallbladder in patients with congenital biliary dilatation.	勝野伸介他	小児外科
Pediatr Surg Int	Different polyunsaturated fatty acid profiles in patients with biliary atresia after successful Kasai operation and liver transplantation	住田亙他	小児外科

胆道	膵・胆管合流異常—その現状—	安藤久實	小児外科
Molecular Medicine	Identification of Marker Genes for Differential Diagnosis of Chronic Fatigue Syndrome.	伴信太郎	総合診療部
Pancreas	<ul style="list-style-type: none"> •A Combination Therapy of Gemcitabine With •Immunotherapy for Patients With Inoperable Locally •Advanced Pancreatic Cancer 	廣岡芳樹、後藤秀実	光学医療診療部
Cancer Chemother Pharmacol.	A combination of IFN-beta and temozolomide in human glioma xenograft models: implication of p53-mediated MGMT downregulation.	A Natsume, T Wakabayashi, D Ishii, H Maruta, M Fujii, S Shimato, M Ito, J Yoshida	遺伝子・再生医療センター
J Neurosurg.	Identification of an HLA-A24-restricted T-cell epitope derived from a glioma-associated antigen, interleukin 13 receptor alpha 2 chain.	S Shimato, A Natsume, T Wakabayashi, M Fujii, M Ito, J Yoshida	遺伝子・再生医療センター
International Journal of Cancer	The DNA demethylating agent 5-aza-2'-deoxycytidine activates NY-ESO-1 antigenicity in orthotopic human glioma.	A Natsume, T Wakabayashi, K Tsujimura, S Shimato, M Ito, K Kuzushima, Y Kondo, Y Sekido, H Kawatsura, Y Narita, J Yoshida	遺伝子・再生医療センター
Journal of Neurotrauma	Type I Interferon Inhibits Astrocytic Gliosis and Promotes Functional Recovery after Spinal Cord Injury by Deactivation of the MEK/ERK Pathway	Ito M, Natsume A, Takeuchi H, Shimato S, Ohno M, Wakabayashi T, Yoshida J	遺伝子・再生医療センター
Tissue Eng Part A	Injectable tissue-engineered bone using autogenous bone marrow-derived stromal cells for maxillary sinus augmentation: clinical application report from a 2-6-year follow-up	Yamada Y	遺伝子再生医療センター
Cancer Lett	Yuki K, Natsume A, Yokoyama H, Kondo Y, Ohno M, Kato T, Chansakul P, Ito M, Kim S, Wakabayashi T	Yuki K, Natsume A, Yokoyama H, Kondo Y, Ohno M, Kato T, Chansakul P, Ito M, Kim S, Wakabayashi T	遺伝子・再生医療センター

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松尾清一		
管理担当者氏名	副病院長 石黒直樹	医療の質・安全管理部長 後藤百万	
	薬剤部長 山田清文	総務課長 大岩淳一	医事課長 長谷川浩一

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に 係る入院期間中の診療経過の要約 処方せん 病院日誌		中央管理	疾病分類 ICD-10 管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで中央管理（ 一部紙媒体にて保存）
		薬剤部 総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課・医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部		
確規保則の第9条の2及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療の質・安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療の質・安全管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療の質・安全管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学技術部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学技術部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学技術部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 青山正晴
閲覧担当者氏名	総務課長 大岩淳一 医事課長 長谷川浩一 医療サービス課長 川島秀司
閲覧の求めに応じる場所	総務課 (中央診療棟 7階) 医事課 (外来診療棟) 医療サービス課 (中央診療棟 4階)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	1	件
閲覧者別	医師	延	1	件
	歯科医師	延		件
	国	延		件
	地方公共団体	延		件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.2%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数			15,402人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			13,298人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			651人
D: 初診の患者の数			30,393人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (3 名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (1 5) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： インシデント・医療事故情報の収集・スクリーニング及び事実関係の調査に関する事： インシデント・医療事故の分析について中心的役割を果たし、根本原因を究明すること： 医療事故発生時の現場の記録、関係者間の調整に関する事： 医療安全と医療の質向上について調査・研究を行い、病院全体のシステム改善のための提言を行うこと： 医療安全と医療の質向上に係る教育研修に関する事： 医療の質向上と安全推進委員会その他医療の質・安全管理関連の会議で用いられる資料及び議事録の作成・保存に並びに会議の庶務に関する事： その他医療の質向上と安全推進に関する事	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： 医療安全管理に対する基本的な考え方： 医療事故防止に対する基本的な姿勢と組織体制： 医療の安全に関する職員計画： 医療事故の定義と医療事故発生時の報告・対応指針： 指針の閲覧に関する基本方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： 医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項： 医療上の紛争処理に関する事項： 医療の質向上に関する事項	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 7 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： 全職員を対象とした医療安全研修「医療のプロフェッショナルに今求められること」「処方時の注意点」「名大病院における医療の質・安全管理体制ーシステムと個人ー」などの講演等を実施： 新規・中途採用者職員について採用時に「病院の理念・目標」「情報管理」「インシデント報告システム」等の医療安全研修を実施： 全職員を対象に「転倒転落と施設環境」の講演を実施	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">： 手術室におけるガーゼ遺残確認基準 (エックス線撮影基準)： 手術室安全確認表 (サインイン、タイムアウト、サインアウトのルール化)： ダブルチェック方法の統一： 患者誤認防止の基準化	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： ： 院内感染対策に関する基本的な考え方 ： 院内感染対策のための委員会と組織 ： 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項 ： 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ： 院内感染症発生時の対応に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： ： 院内感染の予防及び対策等に関する事項 ： 患者の取扱いに関する事項 ： 医療従事者への感染予防に関する事項 ： その他院内感染及び難治感染症対策に関する事項 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年28回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ： 「病院職員としての健康管理」 ： 「VREに対する感染管理の強化」 ： などの講演等を実施 ： 新規・中途採用者職員について採用時に感染対策研修を実施 ： 全職員を対象に新型インフルエンザ対策講習会を実施 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ： バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) サーベイランスの実施 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5回
<p>・ 研修の主な内容：（上記回数は同一内容で複数回行った場合は1回としています） 新任看護師対象（与薬管理（処方せんの読み方、処方から配薬までの一連の流れなど）、麻薬管理、要注意薬剤） 看護師対象：静注教育スタンダード1および2 医師対象：静注教育研修</p> <p>その他回数に含めていないが、部内、病棟単位での勉強会など多数</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無）</p> <p>・ 業務の主な内容： 本院の手順書に則った医薬品の採用、管理、処方、取扱その他を含む運用の実施に加え、国立大学病院間で行っている医療安全相互チェックにて他施設から実施状況などの評価を受けている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 院内で報告されるインシデントレポートから業務運用方法の見直しを行っている。 上記相互チェックでの指摘された内容（例：病棟配置薬の品目、数量などの検討）については現在大きく見直しをしている最中であり、運用方法など変更予定。 また、関係当局からの医薬品安全情報などは随時院内に通知し、注意喚起を行っている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 人工呼吸器説明会（新人，2～3年目，それ以降） 医療ガス取扱説明会（新人） ME機器（低圧持続吸引器，病棟単位で実施） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 （有・無） ・ 保守点検の主な内容： 定期点検，日常点検，消耗品交換（聞き事にカルテを作成し，実施） 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 	